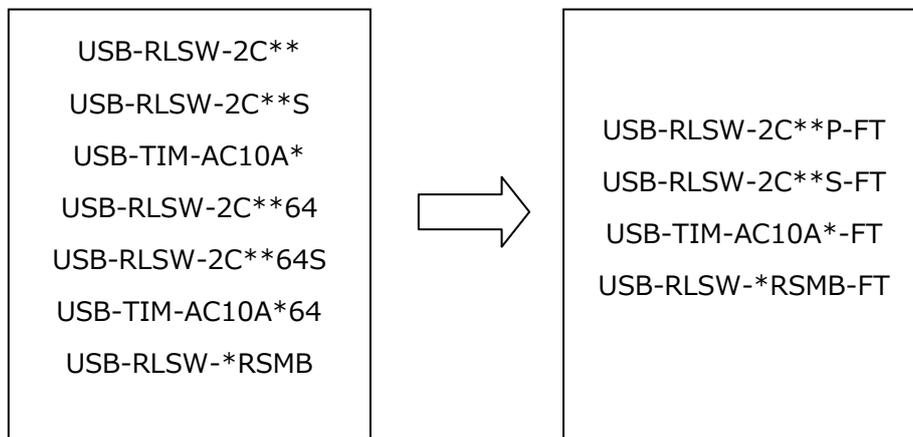


後継機器(FT)に置換する場合の
アプリケーションプログラムの簡単移植方法



Ver.1.0

2017/01/30

システムサコム工業株式会社

1. はじめに

本書はシステムサコム工業株式会社製の旧機器から後継(新)機器(*-FT)に置換した場合、旧機器用アプリケーションプログラムの『プログラム改造』を行わず、そのまま移植する(簡単移植)方法を記述します。

2. 対象機器と使用 DLL について

簡単移植できる機器、使用している DLL は以下のようになっています。

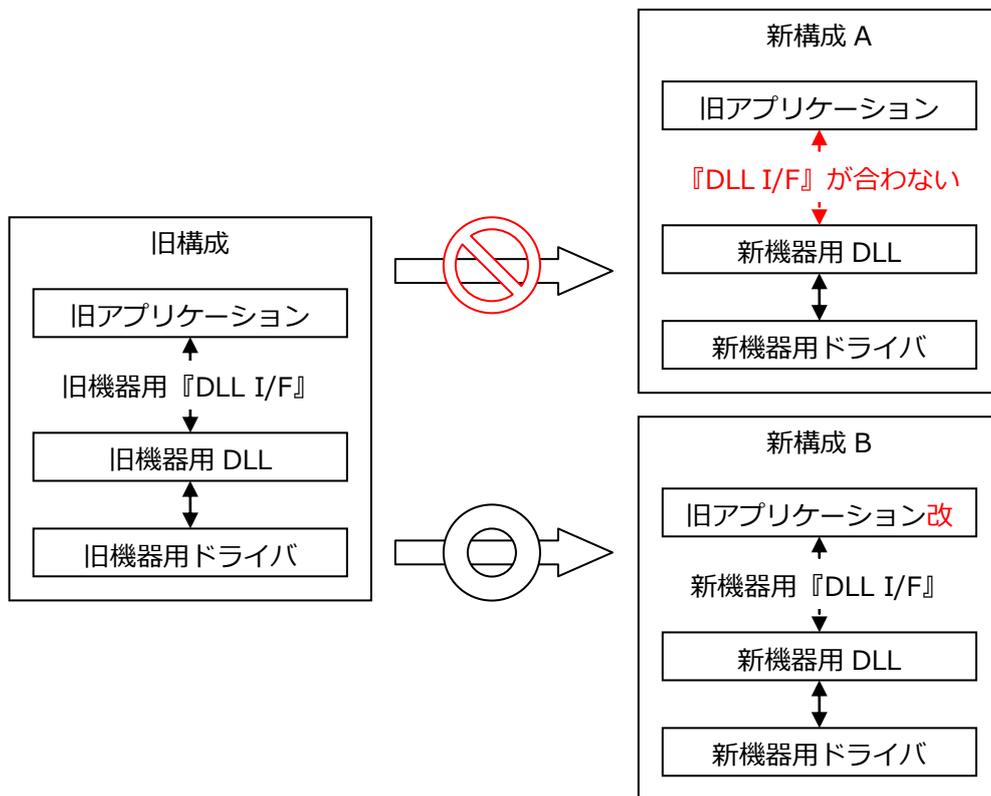
旧機器	⇒新機器	ドライバ区分	使用 DLL ファイル名
USB-RLSW-2CBB	⇒USB-RLSW-2CBBP-FT	A(32bit)	SACOMSW.DLL
USB-RLSW-2CMB	⇒USB-RLSW-2CMBP-FT		
USB-RLSW-2CMM	⇒USB-RLSW-2CMMP-FT		
USB-RLSW-2CBBS	⇒USB-RLSW-2CBBS-FT		
USB-RLSW-2CMBS	⇒USB-RLSW-2CMBS-FT		
USB-RLSW-2CMMS	⇒USB-RLSW-2CMMS-FT		
USB-TIM-AC10Aa	⇒USB-TIM-AC10Aa-FT		
USB-TIM-AC10Ab	⇒USB-TIM-AC10Ab-FT		
USB-RLSW-2CBB64	⇒USB-RLSW-2CBBP-FT	B(32/64bit)	SACOMSW.DLL
USB-RLSW-2CMB64	⇒USB-RLSW-2CMBP-FT		
USB-RLSW-2CMM64	⇒USB-RLSW-2CMMP-FT		
USB-RLSW-2CBB64S	⇒USB-RLSW-2CBBS-FT		
USB-RLSW-2CMB64S	⇒USB-RLSW-2CMBS-FT		
USB-RLSW-2CMM64S	⇒USB-RLSW-2CMMS-FT		
USB-TIM-AC10Aa64	⇒USB-TIM-AC10Aa-FT		
USB-TIM-AC10Ab64	⇒USB-TIM-AC10Ab-FT		
USB-RLSW-2RSMB	⇒USB-RLSW-4RSMB-FT ^(*1)	C(32/64bit)	SACOMSW4.DLL
USB-RLSW-4RSMB	⇒USB-RLSW-4RSMB-FT		
USB-RLSW-6RSMB	⇒USB-RLSW-6RSMB-FT	D(32bit)	SACOMSW6.DLL

*1:旧機器の CH1、CH2 は新機種の CH1、CH2 に対応しています。

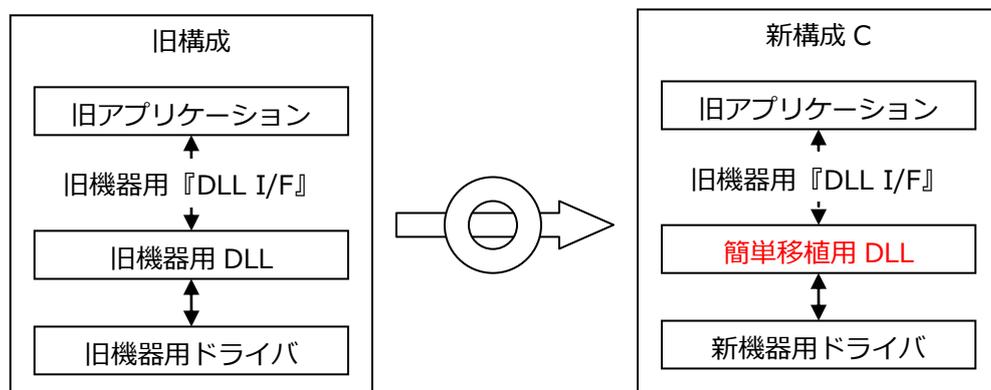
該当する機器に対応する『ドライバ区分』、『使用 DLL ファイル名』は簡単移植作業に必要な情報です。必ず確認して下さい。

3. 簡単移植について

新機器への新機能追加などの理由により、アプリケーションプログラムからデバイスドライバを制御するための方法『DLL I/F』が変更になりました。そのため旧機器用に作成されたアプリケーションプログラムは新機器を制御することができません。新機器用の『DLL I/F』に合わせる為に『プログラム改造』が必要になります。



簡単移植を実現する為に旧機器の『DLL I/F』を踏襲した『簡単移植用 DLL』を作成しました。新機器において『簡単移植用 DLL』を使用する事で、旧機器用アプリケーションの『プログラム改造』無しでそのまま新機器の制御が可能になります。



4. 注意事項

- ・『簡単移植用 DLL』は新機器用に作成されているため、『旧機器用 DLL』と一部 I/F が異なります。【付録. 旧機器用 DLL と簡単移植用 DLL の I/F の差異】
- ・『簡単移植用 DLL』は『旧機器用 DLL』との I/F の互換性を保つ為、新機器の新しい機能には対応していません。新機器の全機能を使用したい場合は、『新機器用 DLL』使用しアプリケーションプログラムの『プログラム改造』を行って下さい。**簡単移植は行えません。**
- ・PC はそのまま使用し機器のみの置換する場合、今まで制御していた旧機器は制御できなくなります。
- ・異なるプラットフォーム(32bit→64bit または 64bit→32bit)OS への移植の場合、移植するアプリケーションが AnyCPU で作成されていない場合は、**簡単移植は行えません。**

5. 移植手順

以下の手順を実行して下さい。

手順 1：新機器のドライバーのインストールを行う。

各製品の『取扱説明書』及び『インストールマニュアル』に従ってインストールを実行して下さい。

手順 2：『簡易移植用 DLL』の配置を行って下さい。

アプリケーションプログラム(exe)が配置されているフォルダに使用する『簡易移植用 DLL』を配置して下さい。該当する DLL は【2.対象機器と使用 DLL について】を参照して下さい。移植先の OS プラットフォーム(32bit/64bit)に合わせた DLL を選択して下さい。

付録. 旧機器用 DLL と簡単移植用 DLL の I/F の差異

旧機器用 DLL と簡単移植用 DLL では DLL 関数の戻り値が違います。

ドライバ区分 : A/B

DLL 名 : SACOMSW.DLL

Sacomsw_Device_Open	
Sacomsw_Out	
Sacomsw_In	
旧機器用 DLL I/F	簡単移植用 DLL I/F
0 : 正常終了	0 : 正常
1 : ID番号が異なる	1 : 失敗
2 : ドライバが正常にインストールされていない	
3 : このデバイスは既にオープンされている	
4 : 接続台数が多すぎる	
5 : デバイスをオープンできなかった	
6 : 指定のデバイスが見つからない	
7 : 指定のデバイスはオープンされてない	
8 : 指定パラメータのエラー	
9 : USB通信エラー	

ドライバ区分 : C/D

DLL 名 : SACOMSW4.DLL/ SACOMSW6.DLL

Sacomsw4_Device_Open/ SACOMSW6.DLL	
Sacomsw4_Out/ SACOMSW6.DLL	
Sacomsw4_In/ SACOMSW6.DLL	
旧機器用 DLL	簡単移植用 DLL
0 : 正常終了	0 : 正常
1 : ID番号が正しくありません	1 : 失敗
2 : ドライバが初期化されていない	
3 : すでにデバイスはオープンされています	
4 : 接続されている台数が多すぎます	
5 : オープンできませんでした	
6 : 指定のデバイスが見つからない	
7 : デバイスがオープンされていません	
8 : 指定パラメータのエラー	
9 : USB通信エラー	